

1980年代の イギリス美術

— 展覧会の記憶とともに

British Art of the 1980s

Exhibitions and Memories

1²⁰²⁵
/ 25
↓
4
/ 6
Ⓜ

開館時間

10時—18時

(入場は17時30分まで)

会場 世田谷美術館 2階展示室

休館日 毎週月曜日

*2月24日(月・振休)は開館、2月25日(火)は休館

観覧料 一般200(160)円、大高生150(120)円、
65歳以上 / 中小生100(80)円

*障害者の方は100円(80円)、ただし、小・中・高・大学生の障害者
は無料。介助者(当該障害者1名につき1名)は無料。証明書を
ご提示のうえ、お申し出ください。

* () 内は20名以上の団体料金。

* 世田谷区内在住・在校の小・中学生は土、日、祝・休日は無料。

* 同時開催の企画展チケットで本展をご覧いただけます。

アルフレッド・ウォリス
Alfred Wallis

サー・ウィンストン・S.チャーチル
Sir Winston S. Churchill

ローレンス・ステイーヴン・ラウリー
Laurence Stephen Lowry

ベン・ニコルソン
Ben Nicholson

ロジャー・ヒルトン
Roger Hilton

パトリック・ヘロン
Patrick Heron

アンソニー・カロ
Anthony Caro

フィリップ・キング
Phillip King

デイヴィッド・ホックニー
David Hockney

アンソニー・グリーン
Anthony Green

バリー・フラナガン
Barry Flanagan

リチャード・ロング
Richard Long

デイヴィッド・ナッシュ
David Nash

ロジャー・アックリング
Roger Ackling

トニー・クラッグ
Tony Cragg

リチャード・ディーコン
Richard Deacon

ステイーヴン・キャンベル
Steven Campbell

アンディ・ゴールズワージー
Andy Goldsworthy

エイドリアン・ヴィジネフスキー
Adrian Wiszniewski

—
デイヴィッド・ナッシュ
《仙台ナッシュ'84 (NO.8)》1984年
© David Nash. All rights reserved, DACS & JASPAR
2024 X0352

世田谷美術館

SETAGAYA ART MUSEUM

〒157-0075 東京都世田谷区砧公園1-2

TEL:03-3415-6011(代表)

<https://www.setagayaartmuseum.or.jp/>

展覧会のご案内 050-5541-8600 (ハローダイヤル)

1980年代のイギリス美術

— 展覧会の記憶とともに

British Art of the 1980s
Exhibitions and Memories

1986年、世田谷美術館は「開館記念展 芸術と素朴」を皮切りに、その歩みをスタートさせました。専門的な美術教育を受けず独自の表現で創作に励んだ素朴派や、国内外の近現代美術など幅広い作品を収集してきたコレクションには、イギリス美術の作品群が含まれています。開館記念展の後、イギリスの素朴画家であるアルフレッド・ウォリス(1855-1942)、第61・63代首相をつとめたサー・ウィンストン・S.チャーチル(1874-1965)ら独学の人々による作品を収蔵し、さらに「デイヴィッド・ナッシュ 船形ワークス」展(1987)、「東と西の架け橋 セント・アイヴス—風土と芸術」展(1989)、「イギリス美術は、いま内なる詩学」展(1990)、「リチャード・ロング 山行水行」展(1996)といったイギリスの現代美術に焦点をあてた展覧会を機に、出品作家による作品がコレクションに加わりました。敷地内の庭ではバリー・フラナガン(1941-2009)などの現代作家による屋外彫刻もみることができます。

世田谷美術館のイギリス美術は、1980年代から90年代半ばに収蔵され、当時、国際的に活躍していた作家たちが80年代に制作した作品が多くを占めています。本展では、過去に開催した展覧会の記録写真もご紹介しながら、1980年代を中心とするイギリス美術のコレクションを振り返ります。

本展解説レクチャー【友の会共催事業】

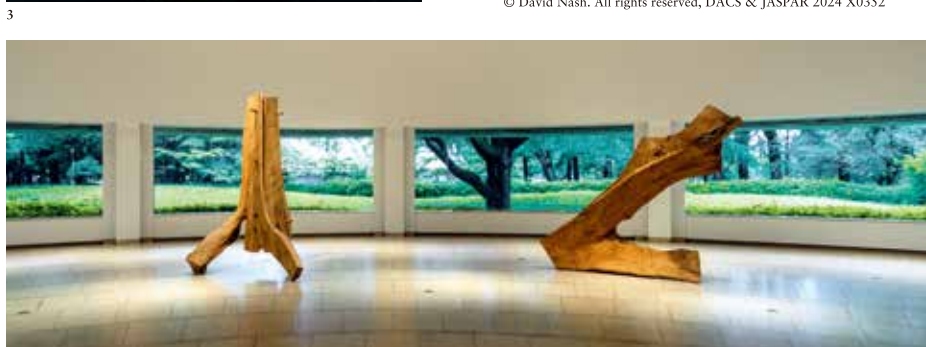
講師 塩田純一(多摩美術大学客員教授/美術評論家)

司会 樋口菜呂奈(本展担当学芸員)

日時 1月29日(水) 14時—15時30分(開場13時30分)

会場 講堂 定員 140名 参加費 無料

※事前申込不要。当日直接会場にお越しください。※手話通訳付き



6 参考図版



5

- 1 アルフレッド・ウォリス《海辺の船》制作年不詳
- 2 アンソニー・グリーン《時計の修理 / 1946年の記憶》1980年
Courtesy of Chris Beetles Gallery, St James's, London on behalf of the Anthony Green Estate
- 3 デイヴィッド・ホックニー《大仏、奈良 1983年2月18日》1983年
©David Hockney
- 4 「リチャード・ロング 山行水行」展(1996年)設置風景 撮影:島山直哉
© Richard Long. All rights reserved, DACS & JASPAR 2024 X0352
- 5 アンディ・ゴールドスワージー《葉脈の間を裂き松葉で縫合した葉 和泉村 1987年12月22日》1987年
- 6 デイヴィッド・ナッシュ (右)《船形》1984年 / (左)《尖箱》1984年
「ミュージアムコレクション 特別篇 グローバル化時代の現代美術—“セタビ”のコレクションで楽しむ世界旅行」(2021年) 会場風景 撮影:上野則宏
© David Nash. All rights reserved, DACS & JASPAR 2024 X0352

コーナー展示 銅版画家・久保卓治—過ぎゆく時を刻むモノクロームの世界

同時開催企画展

東急 暮らしと街の文化—100年の時を拓く 2024年11月30日(土)—2025年2月2日(日)

世田谷美術館コレクション選 緑の惑星 セタビの森の植物たち 2025年2月27日(木)—4月13日(日)

次回収蔵品展

ミュージアム コレクション I 世田谷でインド(仮称) 2025年4月19日(土)—7月13日(日)

- 東急田園都市線「用賀」駅下車 北口から徒歩17分もしくは、美術館行バスA「美術館」下車徒歩3分
- 小田急線「成城学園前」駅下車 南口から渋谷駅行バスB「砧町」下車徒歩10分
- 小田急線「千歳船橋」駅から田園調布駅行バスC「美術館入口」下車徒歩5分
- 来館者専用駐車場(無料、60台)東名高速道路高架下 厚木方面側道400m先。美術館まで徒歩5分

* ご入館に際しては感染症予防のため、手指消毒にご協力ください。館内で十分な距離を保てない場合がありますので、他のお客様へのご配慮をお願いします。* 展覧会の会期等が、急遽変更や中止となる場合もございます。会期中の最新情報は、美術館ウェブサイト等でお知らせします。



世田谷美術館 〒157-0075
東京都世田谷区砧公園1-2
SETAGAYA ART MUSEUM TEL:03-3415-6011(代表)
https://www.setagayaartmuseum.or.jp/
展覧会のご案内:050-5541-8600(ハローダイヤル)